



市立池田病院だより

基本理念

創意に富み 思いやりのある 信頼される病院をめざして

第28号

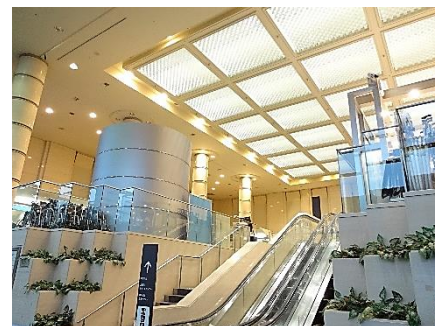
2018年7月発行

1階ホールが5月から大きく変わりました

①総合案内をホール中央に「インフォメーション」として移設
初めて来院される患者さまなどに分かりやすい場所にインフォメーションを移設し、看護師及びコンシェルジュが常駐することにより、案内の充実を図ります。

②「来院確認機」の設置場所を変更

診療科に患者さまの来院を知らせる「来院確認」を速やかに行うため、来院確認機3台のうち、1台を正面玄関入り口付近に、2台をホール中央のインフォメーション横に、それぞれ設置しました。
コンシェルジュが来院確認時のサポートを行います。



③総合受付カウンターのレイアウトを変更

来院から精算、帰院までのスムーズな動線を考慮し、会計窓口及び自動精算機の設置場所を変更しました。それに伴い、料金計算、支払窓口付近に総合受付、保険証窓口を変更しました。特に保険証窓口については、来院確認機で保険証確認が必要となった方がスムーズに向かえるように配置を見直しました。

④「妊婦さん専用スマートレーン」を設置

妊婦さんの受診時の身体的な負担を軽減するため、来院受付（初診時）及び精算窓口「妊婦さん専用スマートレーン」を設置しました。

⑤「文書窓口」、「各種相談窓口」、「かかりつけ医紹介窓口」を移設

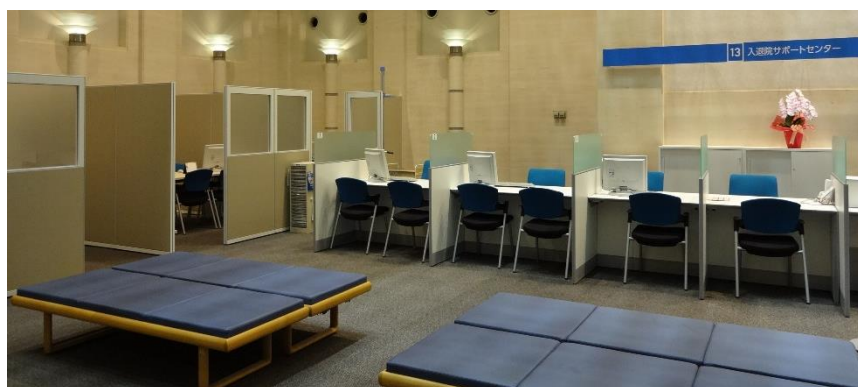
上記の窓口を移設し、コーナー表示も分かりやすくしました。

⑥「入退院サポートセンター」を充実

相談ブースを増設し、患者さまの入退院をさらにサポートしてまいります。

⑦エスカレーターの再稼動及びコンビニのオープン

今後も患者さまの利便性の向上に努めてまいります。
コンビニの営業時間 午前7時から午後9時まで（年中無休）



入退院サポートセンター

入退院サポートセンターでは、入退院に関する心配ごとに対して、各専門職が必要に応じて関わり支援していく体制を構築しております。
患者さまを中心としたチーム医療の実現をめざしてまいります。

次号（10月発行予定）にて入退院サポートセンターを特集いたします。



患者さまの権利

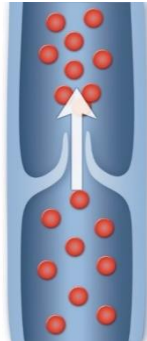
- ・個人として常にその人格を尊重される権利があります。
- ・自分が受ける医療に参加して自ら決定する権利があります。
- ・良質な医療を平等に受ける権利があります。
- ・自分が受けている医療について知る権利があります。
- ・十分な説明を受ける権利があります。
- ・診療上の個人情報やプライバシーが守られる権利があります。

形成外科『下肢静脈瘤治療』について

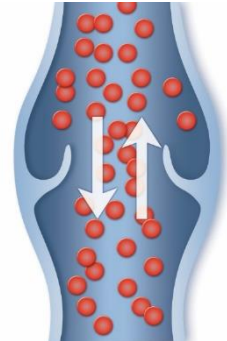
下肢静脈瘤（写真①）は足の血管内の弁が壊れて血液が逆流することで、血管がコブのように膨らんだ状態のことを言います。



①下肢静脈瘤



正常な血管



コブのように膨らんだ血管

40歳以上の女性に多く認められ、年齢とともに増加していき、日本人の約9%以上、患者数は1,000万人以上とも言われています。

良性の病気ですので、急に悪化したり、命の危険はありませんが、足のだるさやむくみ、夜間のごむら返りなどの症状が慢性的に起こり、生活の質を低下させることもあります。まれにかゆみや色素沈着を伴う湿疹うっ滞性皮膚炎（写真②）が起きたり、皮膚が破れる難治性潰瘍（写真③）が起きたりし、重症になることもあります。



②湿疹うっ滞性皮膚炎



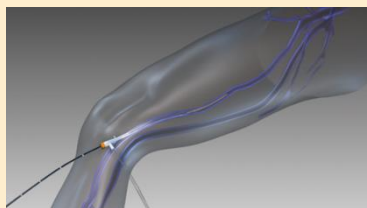
③難治性潰瘍

下肢静脈瘤は、症状が辛い場合や外見が気になる場合、皮膚炎や潰瘍などを認める場合には手術による治療が必要となってきます。

当院では、原因となっている静脈を切除する大伏在静脈抜去術（ストリッピング手術）を主に行ってまいりましたが、2018年2月からラジオ波による血管内焼灼術（血管内にカテーテルを挿入し、血管を焼灼してしまう方法）も可能となりました。脊椎麻酔あるいは全身麻酔下で行っておりますが、以前よく行われていたレーザー治療と比べても皮膚の熱傷などの合併症が少なく、また、皮膚切開を必要としないため、患者さまの負担も少ないと予想されます。

適応外の症例などもございますが、上記症状でお困りの方は一度、当科を受診していただければと思います。

ラジオ波による血管内焼灼術



膝部からカテーテルを挿入し、原因となっている血管を内側から焼灼します。

お知らせ



当院は地域医療の拠点病院として近隣の病院や診療所との連携を進めております。初診の患者さまは、一度かかりつけ医にご相談下さい。

5階北病棟 形成外科入院に関する説明

【形成外科とは】

形成外科って何？ 聞いたことはあるけれど、整形外科や美容整形と何が違うの？
身体はどこ（臓器）を治療する診療科なのか知らない人も多いと思います。

形成外科とは、身体に生じた組織の欠損、変形、また、見た目の不満足に対して、あらゆる手法や特殊な技術を駆使し、機能だけでなく形態的にもより正常に、より美しくすることによって、生活の質の向上に貢献する外科系の専門領域です。

【主な疾患】

形成外科で入院される方の主な疾患は、下肢静脈瘤や眼瞼下垂、また、腫瘍の摘出や皮膚移植術（植皮）、顔面の骨折、内シャント造設（透析を行うための血管をつくる）、乳房切除後の乳房再建などです。

近年では再建方法が進歩して、より美しい乳房再建ができるようになってきました。

乳房再建によって喪失感や日常生活の不都合が解消されており、言葉では伝えきれない精神面での大きな成果があると言われています。



病棟スタッフ



眼瞼下垂術後のアイスノン

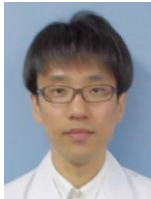
【形成外科病棟での看護師たちの声】

- 手術を受けられる方には、手術までの流れと手術後の様子について説明します。また、形成外科の患者さまは、外見を気にしていたり、元通りになるのかという大きな不安を抱えている場合もあり、精神的ケアも大切な仕事です。
- 手術後は、体温、血圧、脈拍などを測定し、創部の状態を観察し、異常の早期発見に努めます。
- 眼瞼下垂の術後では、専用のアイスノンで創部を冷やします。点眼薬など上手く出来ない場合は介助を行います。一泊の入院で翌日には退院できます。
- ベッド上で安静を強いられることも少ないため、身の回りのことはご自身でできますが、状態に応じて清潔や着替えなど、生活面での介助を行います。
- 形成外科治療で、傷あとや火傷のあとが目立たなくなったり、乳房再建で患者さまの生活や人生の質が大きく向上したりすることは、スタッフにとってもうれしいことです。

医師、薬剤師、理学療法士、管理栄養士をはじめ、病棟スタッフ全員がチーム一丸となって、安心して治療が受けられるように心がけています。

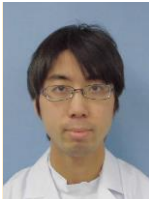
研修医の紹介

当院は、初期研修医の育成に取り組んでいます。研修医が患者さまの診療に当たらせていただくことがあります。研修医が担当する患者さまには、指導医を配置して診療に当たっています。ご理解とご協力をお願いいたします。



氏名
ミハシ ヤスヒロ
三橋 靖大

温かく寄り添う態度での診療を心がけたいと思います。



氏名
ヤマウチ ケイジロウ
山内 桂二郎

心をこめた診療を心がけます。よろしくお願いいたします。



氏名
ミヤモト ノリユキ
宮本 憲征

常に皆様のそばにより添った医療を行っていきたいです。優しい医師が私のモットーです。



氏名
シマオカ タカヒロ
島岡 高宏

今年の4月から医師になりました。全身全霊で取り組みますので宜しくお願い致します。全力投球！



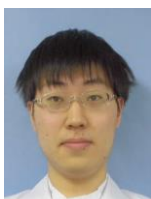
氏名
クスモト タクヤ
楠本 拓哉

4月から研修医となりました楠本です。患者様から信頼される医師となり、より多くの健康を提供できるよう精進致します。何卒よろしくお願い致します。



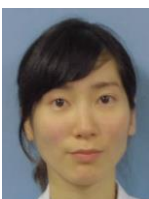
氏名
スギモト アヤノ
杉本 彩乃

患者様から沢山のことを勉強させて頂き、皆様から信頼される医療を提供する一翼を担えるよう努めます。



氏名
ハマベ トモヤ
浜辺 友也

患者さんに安心して頂ける医療とは何かを常に考えて日々精進していきます。



氏名
コウツキ シノ
上月 志乃

4月から市立池田病院で働いています、研修医の上月です。患者さんに寄りそった医療をめざします。これから宜しくお願いいたします。

市民公開講座のご案内

開催日	テーマ	会場
7/24 (火)	皮膚科主任部長 吉良 正浩 先生 13:30~ 「皮膚がんのお話～正しく知り正しく恐れましょう～」	東館2階講堂
8/30 (木)	循環器内科副部長 二宮 智紀 先生 13:30~ 「心房細動のカテーテル治療について」	東館2階講堂
9/28 (金)	眼科部長 小島 啓尚 先生 13:30~ 「白内障のお話」	東館2階講堂

お問い合わせ

ご意見箱を院内に設置しておりますので、病院だより等のご意見・ご感想などお寄せくださることをお待ちしております。

〒563-8510 大阪府池田市城南3丁目1番18号
Tel 072-751-2881(代表) Fax 072-754-6374
URL <http://www.hosp.ikeda.osaka.jp>
編集・発行：市立池田病院 広報委員会